

大海爾荒莫吹四長鳥居名之湖爾舟泊左右手

〔神樂歌〕大前張 階香取

本 迄ながどりぬなの湊に、あいぞいる船の、かちよくまかせ、舟かたぶくな、舟かたぶくな、略 下

伊勢國  
大湊

〔伊勢參宮名所圖會六〕大湊高城濱海を隔て、向にあり、今一色村より船わたしにて渡る、人家多  
入江あり、なるこ  
川といふ。○下略

〔勢陽五鈴遺響渡會郡十五〕大湊 小林村ノ東ニアリ、小林東口ヨリ大湊西口ニ至リ十五町三十

一間半、此間ニ豊宮河ノ下流ノ分流アリ、中小河ト稱ス、○中 湊船掛リ、本邑ノ前洲崎ヨリ南北ノ

間湊口ノ内ナリ、干沙ノトキ深四五尺ノ處二町アリ、深七尺ヨリ一丈ニ至ル處、長二町、幅一町二

十間アリ、潮干ノトキ五百石ヨリ千石ニ至ル船二十艘餘繫グニヨシ、百石二百石ノ船ハ百艘許

繫グベシ、大風暴浪トイヘドモ如是ニシテ其患ナシ、又滿潮ノトキハ深一丈三四尺、五百石ヨリ

千石ニイタリ、海船百艘モ繫グベシ、百石或ハ二百石ノ舟ハ三百餘艘モ繫グベシ、七八月暴風ノ

トキハ船ヲ繫グニ惡シ、南北ノ風ニ不佳、東西ノ風ハ妨ナシ、又湊口ヨリ八町半澳ニ標木アリ、即

水尾木ト云フ、潮干ノトキハ深二尺、或一尺、或ハ一尺五寸、潮滿トキハ深八尺餘アリ、此八丁半ノ

間ハ舟ヲ繫グニ宜シカラズ、此湊口ニ海船ヲ繫グニ干滿ニ隨テイタル、滿潮ニ非ルトキハ、標木

ノ際ニ至リテ、此湊口ニ入ルコト能ハズ、總ジテ諸州ヨリ關東ニ至ル海船ハ、此湊口ヨリ洋中三

里ニアリテ泊スルナリ、其地ヨリ小船ニ運漕シテ此湊ニ入ル、故ニ巨船ハ多ク此湊口ニ維グナ

シ、○中 本邑ハ諸州海船ノ湊集スル處ニシテ、常ニ造船ノ工匠修補ノ巧ヲ盡シ、船材帆檣等ヲ賈

スル家多シ、猶粉黛ノ女肆アリ、故ニ民屋近邑ニ勝テ最繁富ナリ、往昔豊臣將軍朝鮮ノ役ニ、軍船

ヲ此地ニシテ、九鬼長門守嘉隆ニ命ジテ造リ役ス、○下

〔諸國湊附〕伊勢